

社会の問題を解決する

無料

多角的福祉事業創出 応援セミナー

2025年2月
開催予定

今チャレンジしているサードセクター組織のリーダーのお話を聞き、現状の課題や期待について議論を深めます。



就労分野

対象：NPO等、企業、市民、自治体職員 会場：オンライン

「ソーシャルファーム」を進めていこうという取り組みが全国で広がっています。日本では障がい者は福祉的就労で働いているかたが多いですが、障害のあるかただけでなく、働くことが困難なかたが地域で働くことができるソーシャルファームの広がりが期待されます。障がいのある方、ニート、LGBTQ、難病患者、社会的養護施設退所者等働くことに困難を抱える方に対し独自の経営資源の活用と工夫で、制度内サービスを活用し、稼ぐ事業も行い、就労を可能とする民間事業体へと成長するために、今チャレンジしているサードセクター組織のリーダーのお話を聞き、多角的福祉事業体の現状の課題や期待について議論を深めます。

セミナー内容

○ ソーシャルファームの取り組み

○ 【トークセッション】
日本におけるソーシャルファームの広がり

REBIT、いわき自立生活センター、あたくし福祉型事業協同組合
後房雄 公益社団法人日本サードセクター経営者協会代表理事
藤岡喜美子 公益社団法人日本サードセクター経営者協会執行理事

事例報告



認定特定非営利活動法人 REBIT (東京都新宿区)



特定非営利活動法人いわき自立生活センター (福島県いわき市)



あたくし福祉型事業協同組合 (奈良県奈良市)

子育て分野

福祉分野では、介護保険制度、障害者総合支援法、子ども子育て支援制度における保育サービス等にて公的資金が提供され、サービス供給は、ほとんどが民間事業体で担う仕組み（バウチャー制度、各種事業委託、指定管理者制度）が主流となってきています。制度内サービスへの参入規制の緩和と対等な競争により、サードセクターがその良さを発揮し、公共サービスの担い手となるのが期待されます。

しかし、民間事業体のほとんどは縦割りの分野に活動を狭めたり、公的資金が提供されるサービス（制度内サービス）だけを供給する傾向が強く、利用者の多様なニーズに十分対応し得ていないのが現状であり課題です。

JACEVOでは介護保険制度・障害者総合支援法・子ども子育て支援法等に基づくバウチャー制度や各種事業委託、指定管理者制度等を活用し、利用者目線で多角的に経営し、さらには制度外のサービスをも持続的に提供することを可能とする経営を行う事業体の支援をしています。独自の経営資源の活用と工夫で、制度内サービスを活用し、稼ぐ事業も行い、対価を得にくい制度外サービスも提供できる多角的福祉サービスを生み出す民間事業体へと成長するために、今チャレンジしているサードセクター組織のリーダーのお話を聞き、多角的福祉事業体の現状の課題や期待について議論を深めます。

セミナー内容

○ こども家庭庁のビジョンと取り組み
こども家庭庁

○ 多角的福祉事業体創出の意義と現状、今後の課題
藤岡喜美子 公益社団法人日本サードセクター経営者協会執行理事

○ 【トークセッション】
日本における多角的福祉サービスの広がり

こども家庭庁、amigo,alittle,どんぐりの会
後房雄 公益社団法人日本サードセクター経営者協会代表理事
藤岡喜美子 公益社団法人日本サードセクター経営者協会執行理事

事例報告



特定非営利活動法人 amigo (東京都世田谷区)



特定非営利活動法人 a little (兵庫県西宮市)



特定非営利活動法人どんぐりの会 (三重県松阪市)

HPはこちら

日程や詳細が決まりましたら
HPで公開します。
是非ご参加ください！！



公益社団法人日本サードセクター経営者協会

〒143-0016 東京都大田区大森北二丁目3番15号
kyumin1@jacevo.jp https://jacevo.jp/



